

# (第2回)在宅医療カフェ(びわ地区):アンケート結果

◆日時 平成26年9月13日 16:00~17:45

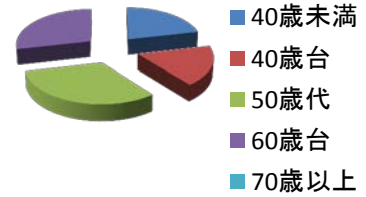
◆場所 リュートプラザ

◆参加人数 41人(内訳:医療福祉関係者 31人 地域住民の代表者 10人)

◆アンケート回収率 68.3%(内訳:医療福祉関係者18人 地域住民の代表者10人)

## 1、参加者の年齢について

40歳未満	40歳台	50歳代	60歳台	70歳以上
6	5	9	8	0



## 2、性別

男	女
10	18



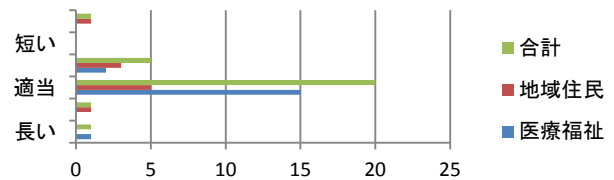
## 3、参加者の内訳

医療福祉	地域住民
18	10



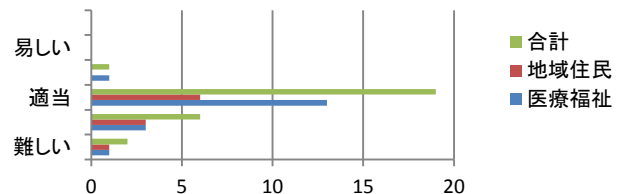
## 4、研修時間

	医療福祉	地域住民	合計
長い	1	0	1
やや長い	0	1	1
適当	15	5	20
やや短い	2	3	5
短い	0	0	0
NA	0	1	1



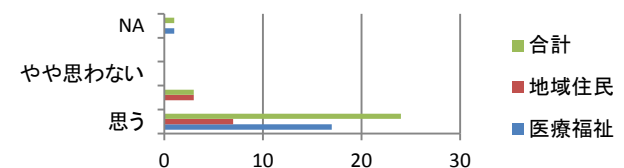
## 5、研修テーマ(内容)の難易度

	医療福祉	地域住民	合計
難しい	1	1	2
やや難しい	3	3	6
適当	13	6	19
やや易しい	1	0	1
易しい	0	0	0
NA	0	0	0



## 6、研修継続の必要性

	医療福祉	地域住民	合計
思う	17	7	24
やや思う	0	3	3
やや思わない	0	0	0
思わない	0	0	0
NA	1	0	1

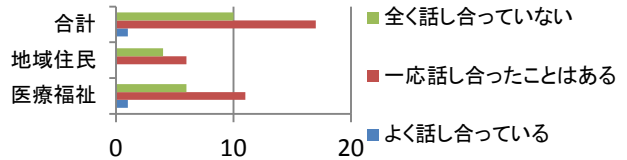


### 《5のテーマ(内容)について意見》

- ・ 日常身近な問題
- ・ 掴みどころがなく的外れな事を書いたように思います
- ・ テーマが絞れていなかった
- ・ 上手にまとめられるグループは討議ができた
- ・ 地域の方と支援者の方が意見交換できてよい機会になった
- ・ 問題に対し答えがない。問題を再認識するには良かった
- ・ 身近な事なので色々な考え方が分かった
- ・ 地域の方が困っている事や福祉や専門職からの提案なども必要だと思います
- ・ 2時間ほどあると良いと思います。色々なテーマで今後もコミュニケーションカフェの継続を！
- ・ 問題点や地域性について認識ができた
- ・ びわ地区での問題点が共通理解できた

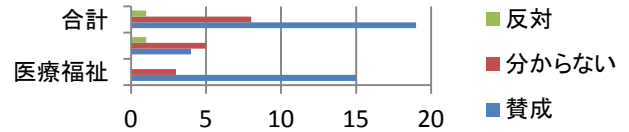
7、人生の最終段階における医療について家族内の話し合いは？

	医療福祉	地域住民	合計
よく話し合っている	1	0	1
一応話し合ったこと	11	6	17
全く話し合っていない	6	4	10



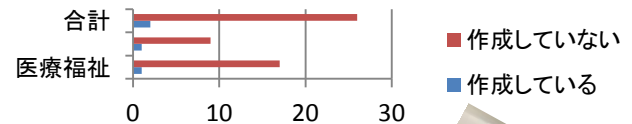
8、意思表示の書面(エンディングノート)の賛否

	医療福祉	地域住民	合計
賛成	15	4	19
分らない	3	5	8
反対	0	1	1



9、意思表示書面の作成状況

	医療福祉	地域住民	合計
作成している	1	1	2
作成していない	17	9	26



10. 感想や意見

《地域住民》



- ・ 実際の介護者や家族の気持ちや意見を聴ける場がもっとあればより現実の問題に対処できるのではないかと思う
- ・ 「死」は他人事や遠い未来の話ではないなと思いました
- ・ 医療支援者・地域の自治会長などおられたが、在宅医療を受けている当事者・家族の話が少なかったように思う
- ・ 専門職の人達と話し合う機会がなかったので良かったと思います(こちらの思いも伝えられた?)
- ・ 20年前、介護保険制度がなかった時に義父を在宅で看取りました。日赤の訪問看護師さんにお世話になりました
- ・ 皆の色々な意見が聞けてよかった
- ・ 健康で長生きできるようにする為のきっかけとなったと思う
- ・ 昨年義父が在宅で亡くなった時の事を思い出した。在宅で良かった。訪問看護ステーションがびわにあることも初めて知った
- ・ 意思表示も大切だが、家族とは出会えるときにその時の生活を少しずつ話し合うことが大切と思われる。やはり頼りになるのは子供達です

《医療福祉関係者》

- ・ 住んでいるびわ地域の現状を把握できてよかったと思う
- ・ 一般の方がもっと参加して頂ければいいなと思いました
- ・ 「長生き病」ってありますね。若い人(生産年齢)からしたら高齢になっても生きている事、自由に使えるお金を持っている事、その事が「腹が立つ」って思っている人多いですよ
- ・ 医療職の人が多かったのもっと住民さんの話が聞きたかったです
- ・ 色々な立場からの意見が聞けて参考になりました
- ・ 他の市町村でもこのような会を開かれる事が必要だと思われます。又地域の方の困っておられる事は聞いておくのが良いと思います
- ・ 長浜楽習塾で健康・医療・美容をさせて頂いています。今後コラボできたらと思います。又各県で医療カフェが始まりました。今後も継続を望みます
- ・ 地域住民の方、Dr.、多職種と話し合いができて良かったです。中々共通のテーマで話し合う事はできませんので良い機会でした
- ・ 今後は今日の話合いで出た案を実現に向けて共に頑張っ、びわをもっと住み良い地域にしたい
- ・ 地域の方も参加されているので色々な思いを抱えていらっしゃる様子もあり、あまりテーマに限定せず、まず話をする機会を持っていく事が大切なのかなと思いました。その中でテーマが色々見えてきそうであると思いました
- ・ 住民の方と多職種の医療福祉関係者と話し合うことができて、地域の力を感じる事ができ、有難うございました
- ・ 若い世代は考える機会もなく、関係ない事だと思っておられる方がほとんどです。もっと今後は真剣に考えていきたいです